

医療従事者が実施すべきワクチンとして、「インフルエンザウイルス・B型肝炎ウイルス・麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎」が上げられています。

しかし、以前 ICT の目的のひとつである、「あなたを守り患者さんを守る！」という観点からは、上記のウイルスのうち B 型肝炎ウイルス以外の「インフルエンザウイルス・麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎」のワクチン接種は医療従事者だけでは不十分ですよね。なぜなら、これらのウイルスは飛沫感染もしくは空気感染であり、会話はもちろん近くにいるだけで感染してしまうからです。

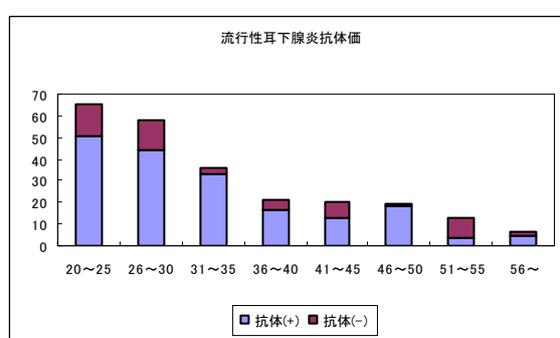
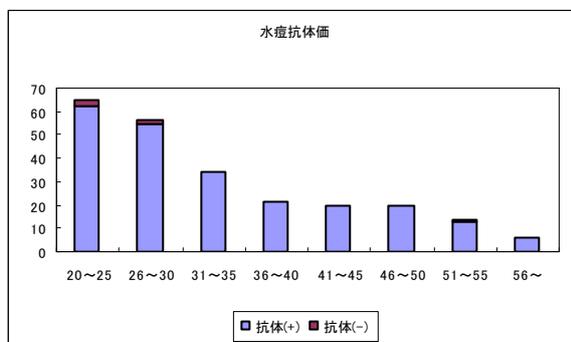
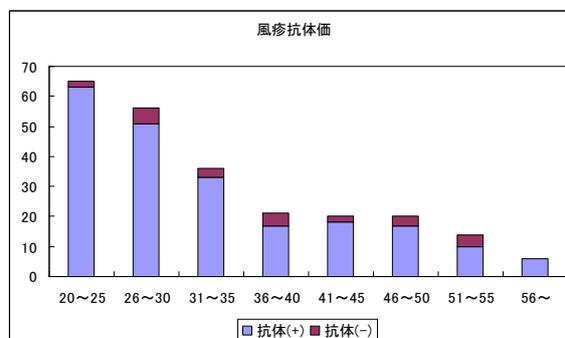
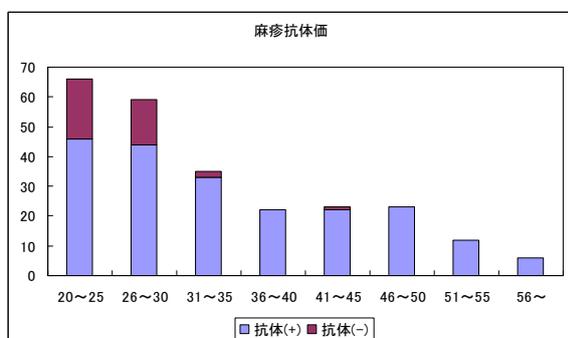
そのため横病では、「インフルエンザウイルス」のワクチン接種および「麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎」の抗体検査+ワクチン接種を医療従事者以外の病院職員に対しても実施しています。病院職員が患者さんからうつされないため、また、病院職員からさらに他の患者さんにうつさないために、病院職員全員が抗体をもつ必要があるからです。

現在、横病職員は 300 人程度ですが、総員が抗体検査に協力しています。新しく職員となった人も、順次抗体検査を実施しています。

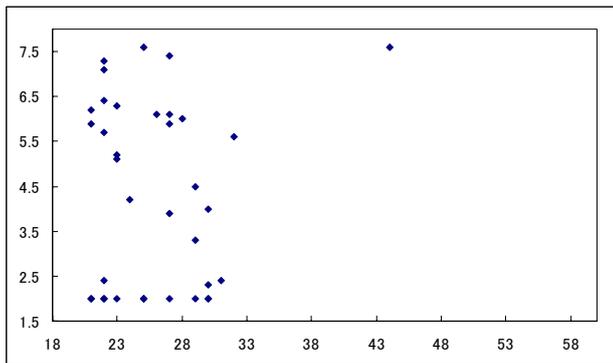
以前実施した検査結果は以下の通りです。

疾患名	検査人数	抗体低値人数	割合
麻疹	246	38	15.4%
風疹	237	23	9.7%
水痘	235	5	2.1%
流行性耳下腺炎	236	53	22.5%

「抗体低値人数」とは、「抗体価がない」もしくは「抗体があっても少ない」人数のことで、こういった方々は麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の患者と接すると感染してしまう恐れがあり、ワクチン接種が必要です。横病では麻疹と流行性耳下腺炎がやや多い傾向にあるようです。年齢別では、



左下のグラフのとおりです。特記すべきは麻疹です。

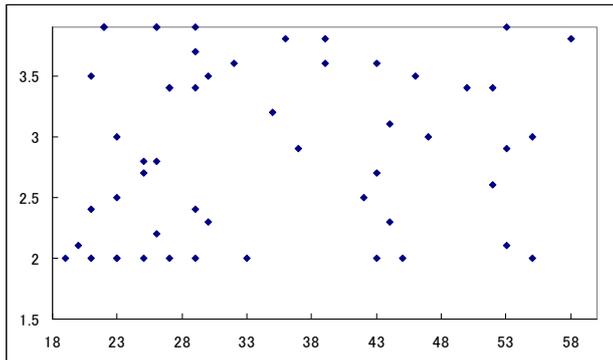


左グラフは、麻疹抗体が低くワクチン接種が必要な人が年齢別にプロットされています。

ワクチンが必要な人は、主に 30 歳以下に限定されていることが分かります。実際に、25 歳以下だと 30%、26 歳～30 歳だと 25%の人が抗体不足だとわかりました。

原因は、接種したワクチンが時間の経過とともに効果を失ったためだと考えられています。

やはり抗体価が低い人が多い流行性耳下腺炎では、どの年齢層もおしなべて多いようです。



左グラフは、麻疹のグラフと同じようにワクチン接種が必要な人が年齢別にプロットされています。

麻疹と違って、年齢に関係なく抗体不足が認められます。

これは、流行性耳下腺炎のワクチンが任意接種であるため、多くの方がワクチン接種せず、かかっていない人が潜在的に各年齢層に平均的に存在するためだと考えられます。

そのほか、職員の方々には抗体検査をしていただく際に、アンケートを実施しました。

単位:人		麻疹	風疹	水痘	耳下腺炎
実際にかかったことがある	抗体(+)	53	50	102	67
	抗体(-)	3	3	1	14
	(-)率	5.3%	5.6%	1.0%	17.2%
予防接種をうった	抗体(+)	22	21	9	11
	抗体(-)	8	4	0	4
	(-)率	27.7%	16.0%	0%	36.4%

上記の表が示すとおり、「実際にかかったことがある」方も、当時の医師の誤診、もしくは記憶が曖昧であるため、抗体が低い可能性があります。また、「予防接種を打ったことがある」方も長い期間でワクチン効果が低下している可能性があります。実際にアメリカでは、このワクチン効果の低下を防ぐため「2回接種」を実施しています。日本では最近になってやっと5年限りの「麻疹・風疹の2期接種」が始まりましたよね。

以上に示したとおり、現在の日本の予防接種状況を鑑みると、水痘以外は誰が抗体を持っているか推定しづらい状況です。また水痘は、検査をした半数以上が「罹患も予防接種も不明」です。このように、記憶や記録だけでは抗体の有無を判断するのは難しく、職員全員の抗体検査が必要なのです。

これまでに抗体検査を実施された方々のうち、ワクチン接種が必要な方には連絡しております。**連絡がない方は、4つの抗体価が充分にあり、ワクチン接種の必要がなかったとご理解ください。**

このような「全病院職員に対する抗体検査+ワクチン接種」は、もちろん全ての病院で実施しているわけではありません。時間と手間とお金がかかるからです。横病においても、衛生資材課・検査課・外来スタッフ・衛生管理課・医事課、そして痛い採血やワクチン接種にご協力いただいた職員一人一人のご協力・ご支援があつてこそ、実施が可能となっています。本当にありがとうございます。

これからも定期的に抗体検査+ワクチン接種は実施していきます。新しい職員の方々にも実施へ

のご理解・ご協力をお願いするとともに、すでに実施された職員の皆さんからの「検査へのよびかけ」もお願いしたいと思います。職員全員で横病感染対策を頑張っていきましょう！

ICT9号（20.9）より抜粋